

かもがわ 社協だより

あたらしいスタート
おうえんしています



© 鴨川市社協 イメージ
キャラクター『葉っぱ』

【発行元】社会福祉法人 鴨川市社会福祉協議会

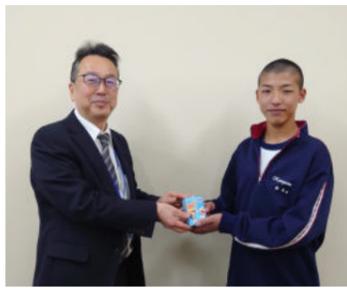
〒296-0033 鴨川市八色 887-1 ふれあいセンター 2階 TEL: 04-7093-0606 FAX: 04-7093-0623

【ホームページ】<http://www.kamoshakyo.or.jp> 【Facebook】[facebook.com/kamosyakyo/](https://www.facebook.com/kamosyakyo/)

「かもがわ社協だより」は共同募金の配分事業によって発行されています。



皆さまから寄せられた募金は、市内の身近な福祉活動や、県内の障害者・高齢者施設助成、災害支援などへとつながっています



令和4年度赤い羽根共同募金運動にご協力いただきましてありがとうございました。今年度も多くの世帯や企業・商店・法人・団体・市内学校にご賛同をいただきました。募金の70%が市内の地域福祉活動へ、30%が県内の障害者・高齢者福祉施設の助成や、県域で活動するボランティア団体支援などに活用されます。また大規模災害時の災害支援としても活用されています。

●赤い羽根共同募金 4,080,871円 (令和5年2月現在)

福祉活動サポーター

鴨川市社協では、地区社協やボランティアグループと連携して、地域の福祉活動支援を行っています。誰もが安心して住みやすいまちづくりを目指しています。

小・中学校、土曜スクールの福祉授業

●長狭学園5年～7年生

学年ごとにステップがあがるよう、5年生は高齢者疑似体験セットを装着して、日常生活の中での不便さの体験を中心に、6年生はゲストスピーカーを招いて障害者福祉を学び、7年生は「赤い羽根共同募金」や「フードドライブ(食品の寄付運動)」についてグループワークを行うプログラムで福祉授業に取り組んでいます。授業の最後に生徒からは「学んだことを生かして、自分たちができることから一つずつ取り組んでいこうと思います」、「みんなが安全に暮らせる町にしていきたい」と積極的な発表がありました。



●西条土曜スクール

障害の有無にかかわらず、相手の立場になってコミュニケーションをとる大切さを学ぼうと、ジェスチャーや簡単な手話を覚えて、意思を表現する福祉授業を行いました。参加した児童は、資料を見て互いに手話で自己紹介するなど、真剣に取り組んでいました。



●田原小3年生

田原地区社協も参加して、高齢者疑似体験や車いす体験を一緒に行いました。児童からは、「一緒に住んでいるおじいちゃんやおばあちゃんの大変さが分かったので、お手伝いをしてあげたいと思った」という声がありました。



ボランティア活動 なの花サポーター交流会を開催

生活支援・介護予防サポーター「なの花サポーター」が鴨川青少年自然の家で交流会を実施しました。紅白に分かれ、パラスポーツのポッチャやスカットボール等を行い、ボランティア同士の交流を深めました。



地区社協活動 江見・曾呂・太海地区社協が友愛訪問

江見・曾呂・太海地区社協は、民生委員とともに、地域の独居高齢者や高齢者のみの世帯に江見小児童が書いた手紙などを手に、約140軒の戸別訪問を行いました。「訪問してくれてうれしい」という声が多く寄せられました。

